

市長定例記者会見

平成29年6月30日（金） 午前10時

- | | |
|--|-----|
| 1. 児童書出版助成 対象作品の決定 | 1 P |
| 2. 進めています！災害に強いまちづくり | 2 P |
| 3. 「空家活用アドバイザー」・「耐震アドバイザー」の設置 | 4 P |
| 4. 「鹿児島市イクボス推進同盟(仮称)」参加企業等の募集 | 5 P |
| 5. 松本市との文化・観光交流協定締結5周年記念
「国宝松本城太鼓まつり」への派遣 | 6 P |
| 6. 2017夏のイベント | 別冊 |



プロ野球 福岡ソフトバンクホークス
「鹿児島デー」
— 5月30日(火)



Jリーグ 松本山雅
「協定締結5周年記念
松本市・鹿児島市
文化・観光交流都市デー」
— 6月4日(日)

人・まち・みどり みんなで創る
“豊かさ” 実感都市・かごしま

鹿児島市

1. 児童書出版助成 対象作品の決定

本市に根ざした文学振興の取り組みとして、児童文学の書き手の育成を図るため実施している児童書出版助成について、第2回目の助成対象作品が決定したので発表する。

1 助成対象作品

「モイラと雲ちゃん 火山のアシュリーをたすけなきゃ」
(ジャンル：絵本)

2 作者について

次の2名の共著

アリスター ターリー (鹿児島市在住 40代)

ターリー 美紀 (鹿児島市在住 40代)

<作者略歴>

アリスター ターリー氏

ニュージーランド出身で2005年より鹿児島純心女子中学・高等学校の教員。

ターリー 美紀氏

2008年より民間の総合教育機関勤務。

夫妻で絵本制作に取り組んでおり、今回初めての出版となる。

<児童書出版助成 制度概要>

- ・児童文学の書き手の育成を図るため、児童書に関する「原稿」を募集し、優れた作品に対して出版助成を行うもの
- ・助成額は、出版実費の1/2以内で、50万円を上限とし、出版後に助成(平成29年度中)
- ・助成対象の出版物は、市が必要部数を購入し、市内の学校・図書館等に配布



■ 問い合わせ

文化振興課

099-216-1501

2. 進めています！災害に強いまちづくり

1 災害対策本部設置訓練

大地震が発生した場合の迅速かつ的確な初動体制の確立のため、国による7月5日（水）の平成29年度緊急地震速報訓練に合わせて、災害対策本部設置訓練を実施する。

(1) 日時・場所

- ① 日 時：7月5日（水）
10時15分～11時15分
- ② 場 所：東別館3階 災害対策本部室

(2) 訓練参加者

- ① 災害対策本部長
・本部長：市長
・副本部長：松永副市長、松山副市長
・本部長員：各局長、企業管理者など
- ② 災害連絡員
- ③ 本部詰め職員 ほか



災害対策本部会議の様子（平成26年台風第19号）

(3) 訓練概要

- ① 災害の想定
平成29年7月5日（水）10時15分に南海トラフを震源とするマグニチュード9.1の地震が発生。鹿児島市でも震度6弱の揺れを観測。津波発生のおそれはなし
- ② 訓練内容
地震発生約30分後、災害対策本部会議を開催し、対策部ごとの被害状況や今後の対応方針を報告・共有し、本部長から今後の対応に関する指示を行うまでの流れを確認
- ③ その他
訓練終了後、災害対策本部室の整備概要を訓練参加者に説明

2 インドネシア大規模噴火対策現地調査

国内では事例のない現代都市への大量降灰対策について、インドネシアにおける火山の大規模噴火による被災自治体等を訪問し、対応事例などについて調査する。

(1) 目的

桜島の大量降灰に備えて、インドネシアのメラピ山及びケルット山の大規模噴火の対応事例を学び、軽石・降灰除去やライフライン復旧、土石流・河川氾濫対応、救急医療対応など本市の大量降灰対策の参考とするもの

(2) 現地調査期間

7月25日（火）～28日（金）

(3) 訪問者

市長、井口正人氏（京都大学防災研究所火山活動研究センター長）、危機管理部長、危機管理課長など

(4) 主な訪問先（予定）

メラピ山視察、火山博物館見学、スレマン県知事表敬、ケルット山視察、クディリ県知事表敬など



（次ページに続きます）

3 災害に関する協定締結

以下のとおり災害に関する協定を締結し、災害対応の充実を図る。

(1) 災害時における地図製品等の供給等に関する協定

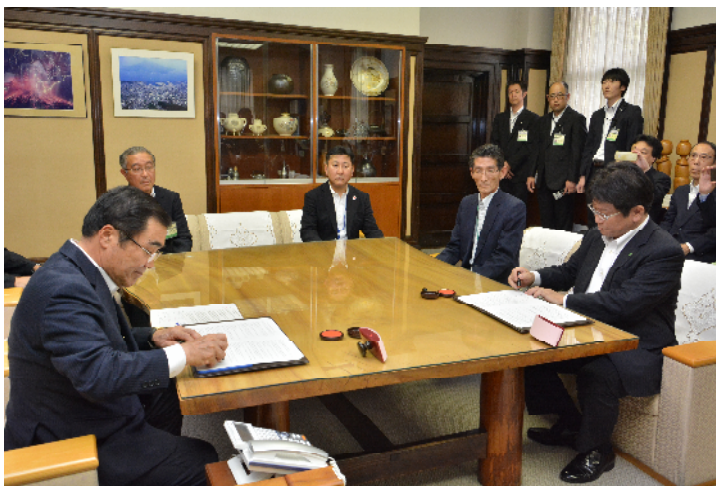
災害対応に活用できる住宅地図WEBサービスや広域地図の無償提供など

- ① 協定締結日：7月20日（木）
- ② 協定締結者：株式会社ゼンリン

(2) 災害時における食糧等物資の供給協力に関する協定

災害時に避難所等で必要となる物資全般の供給

- ① 協定締結日：7月20日（木）
- ② 協定締結者：NPO法人コメリ災害対策センター、ミドリ安全鹿児島株式会社



災害に関する協定締結の様子

（6月12日(月)「災害時における福祉用具等物資の供給等に関する協力協定」）

■ 問い合わせ
危機管理課
099-216-1213

3. 「空家活用アドバイザー」・「耐震アドバイザー」の設置

空家の活用促進や耐震対策について、専門的な知識を有するアドバイザーを設置し、無料で派遣する取り組みを7月から開始する。なお、この取り組みは県内では初めてである。

1 空家活用アドバイザー

今回10人を登録（建築士4人、宅地建物取引士6人）

(1) 相談対象者

空家所有者または相続人、集会所、児童クラブなど不動産の公的活用を希望する団体

(2) 相談内容

① 空家所有者等の場合

活用に関すること、適正管理に関すること、
不動産の売買又は賃貸借に関すること など

② 空家の公的活用を希望する団体の場合

マッチング（団体の意向を空家所有者等に伝え、両者を円滑に引き合わせる）時の契約等における助言

(3) 派遣回数

- ・空家所有者等は、対象空家1件につき2回まで
- ・公的活用を希望する団体は、1年度につき2回まで

(4) 派遣費用

無料



2 耐震アドバイザー

今回3人を登録（建築士3人）

(1) 相談対象者

戸建住宅の所有者または相続人

※戸建住宅は、平成12年5月31日以前の着工であること

本市の耐震診断・耐震改修の補助は、昭和56年5月31日以前の建築物が対象であるが、熊本地震以降、住宅の耐震性に不安を抱える多くの相談があったことから、耐震アドバイザーの派遣については、一部の構造基準の見直しがあった平成12年5月31日以前着工の建築物を対象として範囲を拡大。

(2) 相談内容

耐震診断に関すること、耐震改修に関すること など

(3) 派遣回数

対象住宅1件につき1回まで

(4) 派遣費用

無料



■ 問い合わせ
建築指導課
099-216-1358

4. 「鹿児島市イクボス推進同盟(仮称)」参加企業等の募集

男性の育児参加を応援し、仕事と生活を両立しやすい環境の整備に率先して取り組み、鹿児島市全体の気運醸成を進めるために「鹿児島市イクボス推進同盟（仮称）」を結成することとし、その参加企業等を募集する。

1 「鹿児島市イクボス推進同盟（仮称）」とは

(1) 趣 旨

男性の育児参加を応援し、仕事と生活を両立しやすい環境の整備に率先して取り組み、鹿児島市全体の気運醸成を進めることを目的とする。

(2) 取組の予定

- ・ 秋頃、同盟への参加を申し込んだ市内に事業所を有する企業・団体等による会議を開催し、「鹿児島市イクボス推進同盟（仮称）」を結成して、メッセージを発信。
- ・ 有識者を招いての講演や、先進事例・他企業等の取組に関する情報の共有、取組の推進 など

2 募集内容

(1) 対 象

「鹿児島市イクボス推進同盟（仮称）」の趣旨に賛同していただける、市内に事業所を有する企業・団体等

(2) 申込期限

7月31日（月）※消印有効

(3) 申込方法

所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵送かFAXでこども政策課へ

「イクボス」とは

職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のこと



■ 問い合わせ
こども政策課
099-216-1514

5. 松本市との文化・観光交流協定締結5周年記念 「国宝松本城太鼓まつり」への派遣

本市と松本市の文化・観光交流協定が、今年度5周年を迎えることから、松本市で開催される「第30回国宝松本城太鼓まつり」に文化団体を派遣する。

1 派遣団体

西上（にしかみ）太鼓踊り保存会（郡山地区）

島津義弘が士気を鼓舞するために作らせたといわれる400年の伝統の踊り。

本市の無形民俗文化財。スピード感と勇猛果敢さがあり、衣装も華やか。

2 派遣時期

7月30日（日）

<参考> 第30回国宝松本城太鼓まつり

国宝松本城を舞台に、城のライトアップの中で、全国から集まったさまざまな太鼓団体が次々に力強い演奏を繰り広げる松本市の夏の風物詩ともいえる祭り。

開催期間：7月29日（土）～30日（日）17時30分～21時

会場：国宝松本城本丸庭園メインステージ ほか



西上の太鼓踊り



今年のおはら祭に松本市の「奈川獅子（ながわじし）」が参加します



「奈川獅子」は松本市の重要無形民俗文化財に指定されている獅子舞です。

■ 問い合わせ
文化振興課

099-216-1501